

令和6年度 やまがた社会貢献基金助成事業 活動報告書

団体名	北庄内食援隊		
事業名	食支援を通じて高齢者の居場所づくり		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ希望型）【テーマ：お節介プロジェクト 一人暮らしの高齢者（もしくは老老世帯）の日常生活の見守り活動支援】		
団体の 所在市町村	山形県酒田市	事業費	368,404 円
		うち助成金額	341,355 円
事業実施期間	令和6年6月13日～令和7年2月28日まで		

事業目的・実施内容	（事業目的） 閉じこもり防止とフレイル予防、嚥下に支障がある人への助言、高齢者の料理力の向上など
	（実施内容） ①在宅高齢者を対象にした「やわらかふえCome×Come」の開催（3回） 閉じこもり防止、友達作りの機会、さらに口腔-栄養-運動・リハビリの重要性の啓蒙と三位一体のアプローチを行いながらフレイル予防の機会にすることが出来た。 ＜第1回＞6月30日（日）亀ヶ崎コミュニティ防災センター、参加者18名 内容：【1】講和「閉じこもりと栄養と薬」「閉じこもりと口腔・飲み込み」 【2】レクリエーション「パタカラ選手権」「クラフト制作」 【3】みんなで会食 ＜第2回＞12月1日（日）港南コミュニティ防災センター、参加者15名 内容：【1】講和「栄養と冬の脱水」「栄養と運動」 【2】参加者からのお悩み相談会 【3】みんなで会食 ＜第3回＞2月2日（日）松陵学区コミュニティ防災センター開催、参加者10名 内容：【1】講和「栄養と運動」「冬の脱水」 【2】レクリエーション「パタカラ選手権」 【3】みんなで会食 ②料理教室「やわらかふえCome×Comeクッキング」の開催（1回） 在宅高齢者の料理力の向上を目的とし、家庭でも実践できる内容にて行った。 10月27日（日）ひらたタウンセンターにて開催、参加者11名 内容：やわらか食の調理実習、飲料にとろみを付ける実習 ③市民の健康増進を目的としたイベント「なかまち健康まつり」への出展 10月13日（日）本間病院前の広場にて 内容：①のやわらかふえで提供中の「自家製やわらかパン」の試食と、嚥下食についての啓蒙活動を行った。



事業の成果	・やわらかふえ参加者 人数：第1回18名、第2回15名（リピーター8名） 第3回10名（リピーター5名） 延べ参加者43名（リピーターが13名と定着している） 参加理由：介護している家族の料理に役立てたい、調理方法を知りたい。 地域住民の役に立ちたい。高齢になった自分のため、将来要介護状態になった時のことを考えるため。 ・かむかむクッキング参加者 人数：11名（かふえにも参加の方6名）
今後の展望	・閉じこもり防止がフレイル予防に繋がること、食の大切さ、最後まで口から食べる事を諦めないなどを市民に啓蒙する機会として活動を継続していきたい。 ・酒田市内のコミセンから始めているが、遊佐町や庄内町といった他の北庄内のエリアに活動の場を広げたい。また、フレンチを中心としたメニュー以外に、和食など他のメニューでも開催していきたい。 ・調理にお悩みの介護者も多いことが分かったため、料理教室なども積極的にする必要がある。 ・当活動の認知度を広めるとともに、地域の飲食店などのシェフや料理人をさらに巻き込んでいきたい。そうすることで、北庄内に食のバリアフリー化が広がって欲しい。



団体概要

団体名 北庄内食援隊

代表者 大沼寛

「人生の最期まで口からおいしく、楽しく食べてもらいたい」という情熱を持った医療・介護・調理師・行政関係者などの有志が集まって活動しております。

令和 6 年度山形県N P O活動促進補助事業
収支精算書

事業の名称	食支援を通して高齢者の居場所作り
団体名	北庄内食援隊

1 収入の部 (単位：円)

区分	精算額	内容
県補助金	341,355	令和 6 年度山形県NPO活動促進補助金
当該事業による収入	27,000	参加費500円×54回
その他収入	49	ポイント
自己資金		
合計	368,404	

2 支出の部 (単位：円)

区分	精算額	内容
謝金		
旅費	38,500	500円×60回（当日運営） 500円×17回（前日調理）
印刷製本費	1,800	メニュー印刷代
消耗品・材料購入費	225,214	食材料費
通信運搬費		
保険料	2,550	
使用料	34,840	会場使用料
人件費	65,500	1000円×57回（当日運営） 500円×17回（前日調理） ※前日は短時間のため0.5回換算
(委託費)		
(備品購入費)		
(修繕費)		
合計	368,404	